

補導員の手記

相馬警察署
副主任少年補導員 渡部裕絵



灯台であれ

私は、ある少女との関わりを通して、大人は子どもたちにとって「灯台」のような存在であるべきなのだ学びました。

A子は、父子家庭で、唯一の親である父親からは人間性を否定され続けながら育ちました。そして、本来安心できる居場所である「家」が苦痛でしかなく、自傷行為や家出などの非行行為を繰り返すことで、ますます周りの大人から否定的な言葉を浴びせられるようになっていったのです。

初めて会った時は、一言も口をきいてくれず、敵を見るような鋭い目つきでこちらを見ていました。面接を繰り返していくうちに少しずつ心を開いてくれるようになりましたが、A子の目の奥から大人への不信感が消え去ることはありませんでした。それは、大人に傷つけられてきたA子の人生を物語っていたのかもしれませんが。その後も自暴自棄な言動を繰り返すA子に、私は声を掛けて進むべき道を示し続けました。

就職が決まったことを機に、A子との関わりも次第になくなってきました。そんなある日、私に会いに来た子がいるよとの連絡を受けました。私はその子を目にしたとき、一瞬目を見張りました。そこには、あの鋭い目つきをしたA子の姿はなく、とても穏やかな表情をした女の子がいたからです。

そして、開口一番に「今まで私と関わってくれてありがとう。もう自分を傷つけることはしなくなったよ。」と笑顔で話していました。

私は、その表情や感謝の気持ちを言葉で表現するA子を見て、子どもはこんなにも立ち直れる力を持っているのかと驚きました。

子どもたちは、一時は周囲の環境の変化や成長に伴う不安定な心に戸惑い、立ち止まったり、後退したり、あるいは誤った道へ進んでしまうこともあります。しかし、周囲の大人が灯台のような存在となり、根気よく道を示し続けることで、時間がかかったとしても子どもたちは光のある方向を目指して進んでくるのです。そこで明かりを灯すことを止めてしまえば、目指す方向を見失い、暗闇の中をただたださまよいつづけることなのでしょう。事の重大性に気づいて慌てて消した明かりをつけてもそのときには光が届かないはるか遠くまで行ってしまっているのです。私たち大人の役割は、諦めることなく子どもたちに声かけをし、進むべき道を常に照らしてあげることではないでしょうか。そのような関わりを持って子どもたちは、自己肯定感や自尊心が自然と育ち、人に対する思いやりの気持ちを持つことができます。そして、その子が大人になったとき、同じことを子どもたちに返してあげることができるのです。



「地域の目」で守ろう わたしたちの街

侵入者が犯行を諦める理由は...

「近所の人に声をかけられたり、ジロジロ見られた」という「地域の目」不審者を見かけたら「なにかご用ですか？」などと声をかけましょう。近所に目を配って、自分達の街を守りましょう。



福島県自転車防犯登録推進協会

必ずしましょう!! 自転車防犯登録

●自転車防犯登録は、法律で義務づけられています。防犯登録をすることにより、自転車盗難被害の防止効果とともに、自転車の被害回復に役立ちます。自転車を購入したり、譲り受けた際は、必ず自転車防犯登録をしましょう。



●自転車防犯登録の抹消手続き
自転車を譲ったり、廃棄したりするときは、自転車防犯登録の抹消手続きが必要です。
手続きは、警察署・交番、自転車防犯登録所(自転車防犯登録所の表示板を掲げている自転車店)で行ってください。「自転車防犯登録抹消届」に必要事項を記入の上、提出していただく簡単な手続きです。

賛助会員募集中

あなたの善意を犯罪防止活動に役立ててみませんか!

公益社団法人福島県防犯協会連合会では、会員の皆様の会費等により、犯罪の防止、青少年の非行防止、覚醒剤等薬物乱用防止、自転車盗難の防止、風俗環境の浄化などに取り組んでいますが、より充実した活動を行うため、賛助会員を募集しています。

入会手続きは、当協会のホームページ (<http://www.bouhanfukushima.com>) をご覧いただくか、事務局 (024-573-0699) までお問い合わせください。

●税制上の優遇措置
福島県防犯協会連合会に対する寄附金や賛助会費は、税制上の優遇措置を受けることができます。



～みな様のご協力をお待ちしております～

地域安全標語 **ありがとう 毎日見守り 安心登校**

防犯しゃくなげ

発行
公益社団法人福島県防犯協会連合会
福島市舟場町2番1号
福島県庁舟場町分館3F
☎024-573-0699
☎024-573-2833
<http://www.bouhanfukushima.com>
印刷 (株)民報印刷

「みんなでつくろう安心の街」

新入学・進級シーズンです。

正しい知識と行動、そして周囲のあたたかい見守りで安全な学校生活を送りましょう。

今年も、いよいよ新入学・進級シーズンとなります。新入生は、学校生活への期待でわくわくしているのではないのでしょうか。期待どおりの楽しい充実した学校生活を送ってください。

一方、楽しい学校生活の反面、今までと環境が大きく変わり、また、行動範囲の広がりや携帯デビューなどによって、思わぬ危険な場面も待ち受けています。

新しい生活に早く慣れるとともに、危険に遭遇しないよう正しい知識と行動を身につけて安全で安心な学校生活を送りましょう。

- 行かない**
知らない人について行かない。
- 乗らない**
知らない人の車に乗らない。
- 大声で叫ぶ**
「助けて!」と大きな声を出す。
- すぐ逃げる**
大人のいる方に逃げる。
- 知らせる**
どんな人が何をしたのか知らせる。



自主防犯活動への参加を!

犯罪に強い街づくりには、地域の結束が大切です。県内各地では「地域の安全は地域で守る」という意識のもと、自主防犯活動が行われています。新入学シーズンは、特に地域での自主防犯活動が期待される時期です。県民の皆様のご協力をお願いいたします。

「子ども見守り活動」!

新学期も間もなくですが、子どもの安全を確保するため、一定の時間、子どもの生活ゾーン(学校周辺、通学路、公園など、子どもが日常生活で行動する場所など)に止まるなどして周辺の子どもの見守る活動をいいます。子ども見守り活動に決まった形はありません。「掃除しながら」、「犬の散歩しながら」、「花壇の手入れしながら」など、子どもの活動時間(登下校時間帯など)に合わせて、少しの工夫でできる見守り活動です。



防犯パトロール

犯罪が多発している時間帯や場所を選び、多くの人が活動しやすい日時を設定して実施しましょう。



環境浄化活動

ゴミのポイ捨てや落書きを許さない明るくきれいな街づくりは、犯罪を起こさせない環境づくりに役立ちます。



あいさつ運動

あいさつは、地域コミュニティづくりの第一歩です。不審者を地域に入れないなど地域の安全確保に有効です。



福島県の犯罪概況(平成30年)

平成30年中 10,277件(前年対比-850件)



平成30年 罪種別件数

区分	件数	構成比	前年比
総数	10,277件	100%	-850件
凶悪犯	42	0.4	+9
租界犯	526	5.1	-10
窃盗犯	7,541	73.4	-454
知能犯	431	4.2	+40
風俗犯	41	0.4	-73
その他	1,696	16.5	-362

平成30年の福島県内の刑法犯認知件数は、前年比850件(7.6%)減の1万2777件でした。平成14年の3万6,018件をピークに16年連続の減少で戦後最少を更新中です。減少した要因は様々考えられますが、県警察、関係機関・団体、防犯ボランティアの方々のご尽力、さらに、県民の方の防犯意識の高まりなどがあると考えられます。

しかし、殺人や強盗などの凶悪犯やなりすまし詐欺を中心とした知能犯など、増加している事案も見受けられます。県民の一人ひとりが、「自分の地域は、自分たちで守る。」という自主防犯意識を高め、地域安全活動に積極的に参加することによって、身近な犯罪の防止に努めましょう。

地域安全標語 **あいさつを げんきにかわす つうがくろ**

安全・安心なまちづくり



地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

二本松市防犯協会真弓支部 (二本松市)



二本松市防犯協会真弓支部は、JR二本松駅に隣接した市の中心街の地区にあり、安全で住みよい地域社会を実現するため、矢吹孝三支部長以下11名が、夜間の防犯診断や少年非行防止活動、祭礼時における巡回パトロールなど地域の実情に応じた各種防犯活動を率先して実施しており、地域住民の安全確保に貢献しています。

本宮市防犯協会岩根支部 (本宮市)



防犯協会岩根支部は、昭和40年に岩根地区の有志で発足し、組織改編を経て、平成3年から現団体となり、現在は、支部長以下役員15名を中心に組織されています。

平成13年から毎年クリスマスの時期に独居高齢者宅を訪問し、プレゼントを渡しながらかriminal被害防止・交通事故防止を呼びかける活動を続けています。

大寺五区防犯パトロール隊 (磐梯町)



大寺五区防犯パトロール隊は、磐梯町中心部に位置する大寺五区の地域住民11名で編成され、本年度17年目を迎えました。

同隊では、小学生児童の見守り活動のほか、地区内の危険箇所の点検、地区の清掃活動、行政施設への防犯広報等を積極的に実施し、安全で安心な磐梯町を目指して日々活動しています。

2019年 全国地域安全運動・全国暴力追放運動

「ポスター・標語・青パト活動写真コンクール」

～作品募集中～

2019年全国地域安全運動(10月11日～20日)・全国暴力追放運動に向けて、本年も地域安全ポスター・標語・青パト活動写真コンクールを実施します。

優秀作品は、公益財団法人全国防犯協会連合会・全国暴力追放運動推進センターが募集する全国審査の応募作として出品されるほか、県内の地域安全活動の広報資料等として活用されます。

- 課題
 - ・ 子供・女性の犯罪被害防止
 - ・ 暴力団排除の徹底
- 応募区分
 - ・ 小学生の部
 - ・ 中学生の部
 - ・ 高校生・一般の部

● 締切 5月24日(金)
各地区防犯協会連合会事務局(各警察署)必着

※応募の詳細は、募集チラシ又は公益社団法人福島県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。

(<http://www.bouhanfukushima.com>)

～多数の応募をお待ちしています～



年末年始の事件事故防止運動

平成30年12月10日(月)から平成31年1月7日(月)までの間、年末年始の事件事故防止運動が行われました。

県内では、各地区防犯協会連合会を中心に、多くの防犯ボランティアの方が参加して防犯意識の啓発・高揚活動や防犯パトロールが行われました。

ご協力ありがとうございました。



● 年末警戒状況
福島県知事らによる

平成30年12月10日 福島市



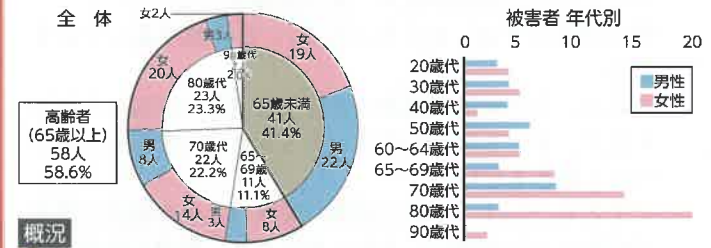
● 年末年始の事件事故防止運動
郡山北地区防犯協会連合会等

(平成30年12月7日)

平成30年 なりすまし詐欺 被害状況

平成30年		平成29年		増減	
件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
99	16,203万	103	21,109万	-4	-4,906万

【平成30年中の特徴】



- 予兆電話やはがきが大幅増加 3,693件(前年比+2,430件)
- 金融機関等による未然防止件数が増加 73件13,786万(前年比+2件+3,237万)

<対策>
○ 不審な請求メールは無視しましょう。
○ 一人で悩まず、家族や警察に相談しましょう。
○ 未然防止件数が増加しています。金融機関をはじめとして、関係機関みんなで協力して被害を防止しましょう。

STOP! なりすまし詐欺



その電話詐欺かもしれません!!

不審な電話がかかってきたら、すぐに家族や警察に確認してください。

なりすまし詐欺被害防止マスクキャラクター「カグンジャー」

架空請求メールに注意!!

携帯電話に「登録料の未払いがあります。裁判の申し立てをします。」等のメールが届き、電子マネー(電子ギフト券)を騙し取られる被害が相次いでいます。身に覚えのない不審メールが届いたら詐欺を疑ってください!

最優秀作品 (中学生の部)

なりすまし詐欺師の意図を探る

いわき市立泉中学校3年 鈴木 佳乃

「もしもし、お母さん。オレだよ、オレ」今では知らない人はいない、オレオレ詐欺。これは特殊詐欺、いわゆるなりすまし詐欺の中でも最も代表的なものである。

テレビやポスターでも被害防止の呼びかけをしているところをよく目にする。今さらそんなわかりやすい詐欺に引っかかるわけがない、と、私は思っていた。しかし、この作文をきっかけに調べてみると、なりすまし詐欺の中で最も被害件数が多かったのが、このオレオレ詐欺だった。そのうえ、こんなに呼びかけられているにもかかわらず、平成二十二年度以降、被害件数は増加し続けている。これは一体どうしてなのだろうか。

その理由は、犯罪者の目線で考えてみればすぐわかる。もし、私が犯罪者だったらどうするか。さすがに私もバカではないので、こんなにも有名になっているオレオレ詐欺をただ繰り返していったって誰も引っかからないことぐらい分かっている。そんなの簡単だ。やり方を変えればいい。いきなり電話して「オレだよ、オレ。悪いんだけど金貸してくれない。」なんて言うのはバカにもほどがある。そんなのいくらなんでも引っかかるわけがない。だから、もっと、「息子らしさ」を見せることが鍵だ。両親を気遣う言葉をかけたり、最近風邪気味だ、などと両親の心配をあおるためだけに電話をかける。その後しばらくしてから、「会社のお金を紛失してしまった。」など、本題を切り出す電

話をかける。これならどうだろう。一度息子だと思い込んでいたので、次の電話に対する抵抗が減ってしまうのではないだろうか。

実際に、オレオレ詐欺はこのように巧妙化しているのだから、被害件数が増え続けているらしい。つまり、犯罪者達は私たちがよりだまされやすいように、私たち目線で新たな詐欺の手法をつねに考案し続けている。それなのに私たちは、被害者側か客観的に見た第三者の視点でしか、この問題を考えようとしません。そのままでは、本当にこの犯罪からみんなを守ることはできないと私は思う。したがって、私たちが犯罪者の視点で物事を考え、彼らの意図を理解し、その罠を逆手にとって対策を考えなければ、いつまでたっても私たちは、彼らにだまされ続けてしまうのではないだろうか。

以上が、私がこの作文を書くことをきっかけに、なりすまし詐欺について考えた結果である。つまり、この問題を解決し、新たな被害を防止するためには、犯罪者の視点で考え、彼らの意図を理解し、その罠を逆手にとって対策を考えることが必要であると、私は考える。また、家族の間でひんぱんに連絡を取り合うことも、被害防止につながるようなので、祖父母と連絡をよく取るようにしていきたい。

